

○「第13回アーモンド並木と春の音楽会」を開催しました

3月28日（土）に、13回目となる「アーモンド並木と春の音楽会」を神戸市建設局東水環境センターにて開催しました。当日は好天にも恵まれ、1万人を超える方々にお越しいただきました。特に、アーモンド並木は絶好のタイミングで満開を迎え、来場者の皆さんにピンク色に染まったアーモンドの花を楽しんで頂きました。

フレッシュな若手職員2名の司会進行のもと、神戸市消防音楽隊の演奏を始め、地域の皆様の音楽・パフォーマンス、さらには恒例の着ぐるみキャラ総出演コーナーでは、地元の魚崎中学校の生徒さんが活躍して会場を盛り上げて頂きました。

出展関係では、各団体の模擬店は大盛況で、本邦初の“マンホール鉄板焼き”や婦人会のお茶席は完売となりました。また、東灘警察署の白バイ乗車写真撮影コーナーや東部建設事務所の高所作業車の体験コーナー、Nゲージなども子供たちに大人気でした。さらに、運河沿いでは建設協力会の模型船工作実習や、漕艇連盟のボート乗艇に大勢の方が参加され、運河から満開のアーモンドの花を楽しんで頂きました。

“工場萌え”にはたまらない恒例の下水処理場見学や、「神戸 下水道の歩み館(KOBE AQUA GALLERY)」での神戸市下水道の新しい取り組みも好評でした。

来場者アンケートでは、来場者の75%の方が東灘区在住で、また、『何が楽しかったか?』の質問に対して『アーモンドの花』と答え頂いた方が半数近くおられました。あの震災を契機に、地域に開かれた処理場づくりを目指して植えられたアーモンドの木が『神戸新・花の名所』に選定される中、地域の名所として定着しつつあることを実感できる嬉しいアンケート結果でした。

また、来場者の半数が地域の循環型エネルギー『こうべバイオガス』をご存知で、今後も本イベントを通じて循環型社会に貢献する下水道の取り組みを幅広く広報していきたいと思えます。

最後に、出務いただいた皆様、様々な形でご協力いただいた皆様に心よりお礼申し上げます。



魚崎運河と満開のアーモンド並木



神戸のマスコット集合！
(魚崎中学校の皆様おつかれさまでした)



灘の酒造り唄保存会の演技



本邦初”マンホール鉄板焼き”